

令和 3年度 施策評価シート（令和 2年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 01 調和の取れた市域の形成
主管課： 都市計画課
関係課： 企画課、生活環境課、交通防災課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市域	意図（どのような状態にしたいのか） 秩序ある市域が形成され、調和のとれた発展が続くまちをつくる。
------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

調和のとれた土地利用がされていると思う市民の割合						(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
61.50	60.30	67.90	67.20	64.10	72.20	62.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度より8.1ポイント増加しており、目標値は達成しています。 (原因) 土地区画整理事業により計画的な街づくりを進めてきているため、成果は比較的安定していると考えられます。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針							
対前年度							
目標達成度							
次年度課題							

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針							
対前年度							
目標達成度							
次年度課題							

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	54,758	29,109	80,881	130,206	63,913
人件費	48,146	70,334	67,471	0	0
トータルコスト	102,904	99,443	148,352	130,206	63,913

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
01 計画的な土地利用	横ば	横ば				43,856	23,474	60,962	109,037	32,840
02 適切な規制と誘導	横ば					49	209	45	156	156
03 空き家対策の推進	維持	維持				47	46	0	117	117
99 施策の総合推進						10,806	5,380	19,874	20,896	30,800

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

新守谷駅周辺地区は、令和2年5月に土地区画整理組合設立準備会が発足し、12月に業務代行予定者と準備会が業務協定締結に至り事業認可取得に向けて調整協議を進めています。守谷サービスエリア周辺地区は、3回の地元説明会と戸別訪問により事業の賛同を得て、令和3年7月に土地区画整理組合設立発起人会が発足され、地権者の合意形成及び関係機関協議を進めています。守谷駅東口市有地利活用事業は、優先交渉権者である大和リース㈱と令和3年3月に事業契約を締結し、令和4年春のオープン向け工事を進めています。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

策定した立地適正化計画や都市計画マスタープランにより、調和のとれた計画的なまちづくりを誘導していきます。 新守谷駅周辺地区については、準備会を発足し業務代行予定者の選定手続きを実施するとともに、事業認可取得に向けた調整、協議を進めていきます。また、大野地区については、組合土地区画整理事業の推進を図るため、地権者及び関係機関協議を進めていきます。 守谷駅東口市有地利活用事業については、優先交渉権者と協議を進め早期整備を目指します。みずき野地内商業施設跡地利活用は、官民連携による事業を推進していきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性

持続可能なまちづくりを目指し、策定した立地適正化計画や都市計画マスタープランにより、調和のとれた計画的なまちづくりを推進します。また、守谷駅周辺の低利用地を活性化するため、都市機能施設を誘導するよう構築します。 新守谷駅周辺地区は、事業認可取得に向けて調整、協議を進めていきます。 守谷サービスエリア周辺地区は、業務代行予定者の選定や事業認可取得に向けて調整、協議を進めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減